



# 大阪府済生会千里病院 地域支援センター 地域医療連絡室だより

編集・発行  
済生会千里病院 地域支援センター  
地域医療連絡室  
〒565-0862  
吹田市津雲台 1-1-6  
TEL 0120-115-031 (登録医専用)  
FAX 06-6871-5915

## 第43回 登録医会総会並びに学術講演会

平成23年3月19日(土)15時30分より、千里ライフサイエンスセンター5階サイエンスホールにて「第43回 登録医会総会並びに学術講演会」が開催され、登録医45名、職員44名、その他合わせて93名にご出席いただきました。

また今回は、急遽プログラムを変更し、救急部 林副センター長より、東日本大震災に派遣された当院のDMATチームの活動報告をさせていただきました。

### 特別学術講演 第2部

#### ○演題「肺抗酸菌症の臨床(肺結核・非結核性抗酸菌症)」

独立行政法人国立病院機構 刀根山病院 呼吸器腫瘍内科 内科医長 森 雅秀



抗酸菌は結核菌群と非結核性抗酸菌(non-tuberculous mycobacteria:NTM)に大別され、いずれも呼吸器感染症として重要である。肺結核は、患者数は近年減少傾向にあるが、患者の高齢化が目立つ。結核の確定診断には、菌の同定もしくは遺伝子検査が必要であり、治療薬剤の選択に際しては薬剤感受性検査がきわめて重要である。最近頻用されるクオンティフェロン検査は、結果の解釈に注意を要する。薬剤耐性がない場合はINH+RFP+SM(or EB)+PZAの4剤で6ヶ月間内服が標準治療となっている。喀痰塗沫陽性例など感染性が高い場合は感染症法に基づく入院勧告が行われる。

一方、NTMは環境常在菌であり、ヒト-ヒトの感染はないとされている。多くはMAC症(M. avium, M. intracellulare)であり、近年中年期以降の女性患者の増加が顕著である。病型としては結核類似型と粒状散布+気管支拡張型などがある。後者は中葉舌区に病変が好発し緩徐に進行するが、長期的には予後不良の症例も少なくない。特徴的な画像所見を呈し喀痰培養で2回陽性となれば診断確定となるが、治療の開始時期については明確な目安がない。結核類似型、大量排菌例、空洞病変が目立つ場合などは早期に積極的治療を行う方が良い。軽症例では、無治療もしくは少量EM投与で経過観察する選択もあり、悪化の傾向があれば積極的治療を行う。CAM+RFP+EB(+SM)を併用し、排菌停止後1-1.5年を目処に継続するが、治療が成功するとは限らない。他のNTMとしては、時にM. Kansasiiが見られる。男性に多く、病像は肺結核に類似している。

### 学術講演 第1部



#### ○演題1「インターフェロン治療地域連携パスについて」

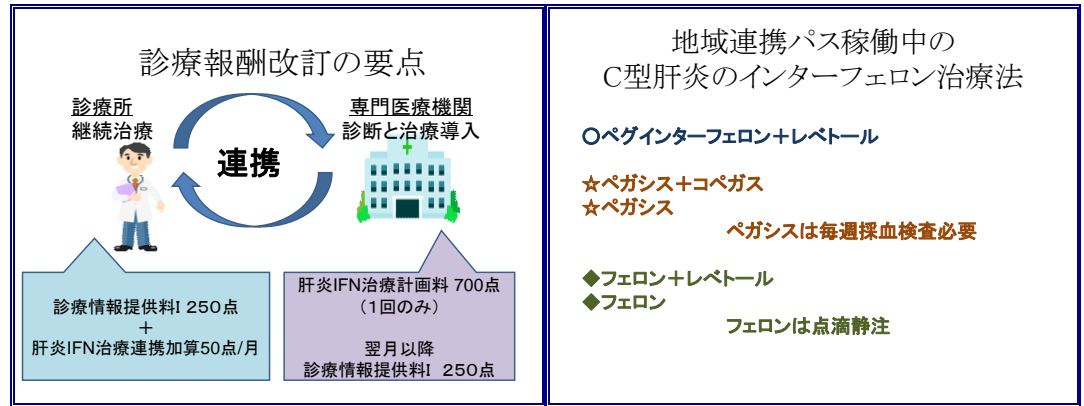
済生会千里病院 消化器内科部長 堀本 雅祥



ウイルス性肝炎は国内最大級の慢性感染症と考えられており、肝疾患に対する法的整備がすすむなか、C型肝炎治療については、毎年治療ガイドラインが改訂されています。また、平成22年度診療報酬改訂における肝炎対策の充実として、肝炎治療の専門医療機関と連携して肝炎インターフェロン治療を行う地域の医療機関の評価を目的とした、肝炎インターフェロン治療連携加算が新設されました。

現在のインターフェロン治療は、24週~72週の長期にわたり、治療途中には様々な副作用も見られることがあるため、綿密な観察を必要とします。当院では、C型肝炎の精査とインターフェロン治療導入をおこない、安定的な通院加療が可能となった時点で、地域の先生の方での注射治療をお願いし、毎月1回程度の病院外来受診をお願いしております。(現在5種類の連携パスが稼動しております)

今後使用可能となる新薬はありますが、C型慢性肝炎治療の中心となるのは、インターフェロン注射であり、病院と、地域の先生との連携が益々重要となることは言うまでもありません。



**○演題2「乳がん術後地域連携パスについて」**

済生会千里病院 乳腺・内分泌外科部長 北條 茂幸

当院は平成22年4月に大阪府がん診療拠点病院の指定を受けました。がん診療拠点病院の指定要件に 病病連携・病診連携の協力体制 があり、『がん診療における地域連携クリティカルパスの整備に協力すること』とあります。乳がんに対する連携パスについて提示します。

患者さんには千里病院にて手術、および必要時に術後補助化学療法を終了した後、ホルモン療法(もしくは経過観察のみ)の開始時点から登録医の先生を受診して頂きます。この時、当院からの診療情報提供書を発行し、ホルモン療法の内容についても記載します。患者さんには連携パスの冊子をお渡しし、診療所および当院の受診時に携行して頂きます。月一回 診療所を受診した際、問診および投薬を行って頂きます。必要時、視触診や各種検査を行って下さい。6カ月に1回 当院を受診して頂き、定期検査を行います。5年を経過した後は 半年に1回 診療所を受診し、当院には年一回の受診予定となります。

半年に1回、診療所から当院を受診して頂く際に診療情報提供書を頂くことによりがん治療連携指導料 300 点が算定されます。

連携パスの導入の際には前もって診療所の登録が必要です。ただし担当先生の専門性は問いません。乳がん術後連携パスにつきまして、先生方のご理解とご協力をお願い致します。

**新任医師の紹介**

医師氏名	診療科	役職	医師氏名	診療科	役職
いまい ともあき <b>今井 智章</b>	歯科口腔外科	医長	あずきざわ みゆき <b>小豆澤 深雪</b>	糖尿病内科	医員
やまもと なおふみ <b>山本 直典</b>	歯科口腔外科	医長	おおた まきよ <b>大田 真紀代</b>	消化器内科	医員
しばた ひろゆき <b>柴田 浩遵</b>	循環器内科	医員	こじま ふみよし <b>小島 史好</b>	病理診断科	医員
あかざわ ゆき <b>赤澤 結貴</b>	呼吸器内科	医員			

**吹田市糖尿病ネットワーク  
～第20回症例検討会プログラム～**

日時：平成23年5月12日(木) 18:00～  
場所：大阪府済生会千里病院 東館3階 講堂  
参加費：医師 1000円 医療スタッフ 500円  
プログラム

『糖尿病患者と下肢切断』

大阪府済生会吹田病院 リハビリテーション科  
理学療法士・糖尿病療養指導士 山根 章先生

『糖尿病合併症で困ったこと』

大阪府済生会千里病院 糖尿病内科部長 鈴木 正昭

**千里臨床カンファレンスのお知らせ**

日時：平成23年6月25日(土) 14:30～  
場所：大阪府済生会千里病院

東館3階 研修室

詳細につきましては、後日ご案内します。